

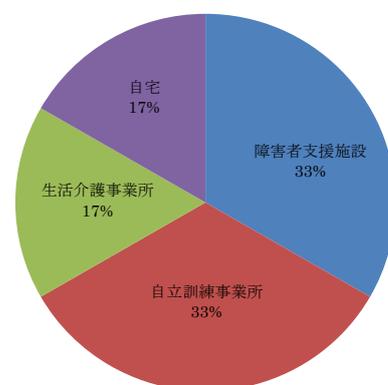
令和2年度 地域リハビリテーション訪問相談の実績について

作業療法士・理学療法士が県内の施設などを訪問し、リハビリテーションに関する助言・指導を行いました。

1. 訪問施設

障害者支援施設、自立訓練事業所、生活介護事業所、自宅など5ヶ所(計6回)訪問し、障がい者本人や支援に携わる方など30人の利用がありました。

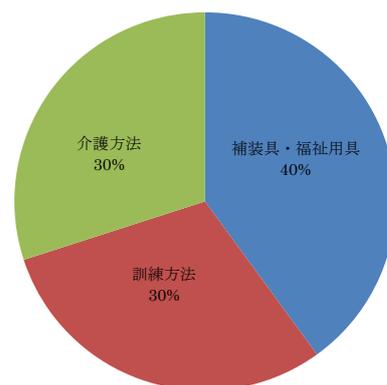
| 種 別 | 施 設 名 | 所在地 | 訪問回数 | 利用人数 |
|---------|-------------|-----|------|------|
| 障害者支援施設 | あすか園 | 串間市 | 1 | 9 |
| | あゆみの里 | 新富町 | 1 | 4 |
| 自立訓練事業所 | キャリアアシスト宮崎 | 宮崎市 | 2 | 4 |
| 生活介護事業所 | Re・LIFE ねいろ | 宮崎市 | 1 | 11 |
| 自 宅 | | 都城市 | 1 | 2 |
| 合 計 | | | 6 | 30 |



2. 相談の内容

補装具・福祉用具、訓練方法、介護方法など10件の相談がありました。

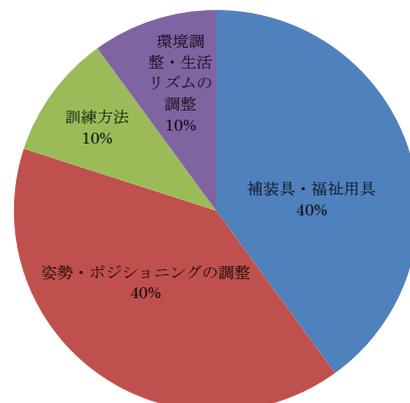
| 相 談 内 容 | 申 込 み 内 容 の 一 例 | 件 数 |
|----------|-----------------------------|-----|
| 補装具・福祉用具 | 病状や生活状況に応じた車椅子を作成したい。 | 4 |
| 訓 練 方 法 | 麻痺に対する訓練方法を知りたい。 | 3 |
| 介 護 方 法 | 車椅子を使用している方が安全に入浴する方法を知りたい。 | 3 |
| 合 計 | | 10 |



3. 助言・指導の内容

相談の内容に対して、10件の助言・指導を行いました。相談に対する助言・指導の一例は以下のようなものであります。

| 助言・指導の内容 | 件数 |
|--------------------|----|
| 補装具・福祉用具 | 4 |
| 姿勢・ポジショニングの調整 | 4 |
| 訓練方法(ROM、ストレッチ、体操) | 1 |
| 環境調整・生活リズムの調整 | 1 |
| 合計 | 10 |



脳出血による左上肢機能障がいがある方への復職（事務）についての助言

脳の右半球を損傷された方は、左半球を損傷された方に比べ、認知機能が低下しやすいため、行動を修正しにくい、注意が疎かになるなどの症状が出現します。これは、高次脳機能障がいの特徴的な失認という症状の一つで、訓練を重ねても歩行が改善しない、いくら約束しても目標を達成できないなどの出来事が日常生活で起こっていると考えられます。

復職には、これらの症状を改善した上で、失敗をしないなど更に高い能力が求められると思います。劇的に改善する症状ではないので、支援者の協力を得ながら、時間をかけて訓練を継続することが大切です。

小児麻痺による両下肢機能障がいがある方への車椅子から自動車に一人で移乗する方法についての助言

車椅子に座っている姿勢から自動車に移乗するには、立ち上がりやすい姿勢になるための重心移動、立位姿勢を保つための適切な杖の使い方、立位姿勢で自動車まで移動する歩き方などが考えられます。その他に、ズボンと座席の摩擦を軽減する福祉用具（トランスファーボード）や体重移動が容易になる把手を運転席の入り口付近に設置（修理）することで、移乗の負担が軽減されると思いますので、試してみてください。